



平成26年5月8日

各位

上場会社名 東京産業株式会社  
 代表者 代表取締役社長 里見 利夫  
 (コード番号 8070)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 須藤 隆志  
 (TEL 03-5203-7841)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は今般、代行売上高を純額表示とする会計方針の変更に伴い、平成25年5月13日に公表した業績予想を下記の通り変更いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	230,000	1,200	1,400	810	30.16
今回修正予想(B)	97,100	1,200	1,400	810	30.16
増減額(B-A)	△132,900	—	—	—	
増減率(%)	△57.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	82,544	1,088	1,367	754	28.10

(注)前期(平成25年3月期)実績の売上高は、会計方針の変更に伴い、遡及修正後の数値となります。

#### 修正の理由

平成26年3月期第3四半期まで、当社が売買の当事者とならず代理人として行う取引に係る売上高について、商社業界における会計実務慣行を踏まえ、売買契約当事者間取扱高を損益計算書の売上高として表示し、当社が受領する口銭相当額を手数料収入として売上総利益に加える形で表示しておりましたが、当期より、口銭相当額のみを損益計算書上の売上高として表示する方法に変更いたしました。

この変更は、国際的な会計基準の考え方においては、重要なリスクを負担しない取引に係る売上高については、取扱高ではなく、手数料のみの純額で表示すべきとされている事、また、売上高の経営指標としての有効性をより高められると判断した事によります。

平成25年5月13日に公表いたしました業績予想は、会計方針変更前の会計処理を前提としたものであるため、当該会計方針の変更に伴い、業績予想の変更が必要となりました。

この結果、通期の業績予想売上高を、前回予想値の230,000百万円から97,100百万円へ変更いたしました。

なお、当該会計方針の変更は、営業利益、経常利益及び当期純利益には影響しておらず、業績予想への影響もございません。

以上